

平成30年

希望の家だより

1月号

1月も終わりに近づき、朝夕は寒気がひとしお身に染みる季節となりましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

去年は、近年にない、天候の変動が日本中に襲い大きな被害をもたらしました、又、真冬でも雨が降ったりで不純な日が多く続いているようです。利用者さんは健康に留意しながら真剣に作業に取り組んでいます。



理事長 八田盛茂

理事長あいさつ

社会福祉法人恵盛会希望の家は昨年4月より新たなスタートを切りました。

障害のある人が住み慣れた地域社会の中で、人としての尊厳が守られ自立と社会参加が保障されて生きていくことが大切です。希望の家においても、利用者一人ひとりのニーズを満たし主体的に生きていくための取り組みが求められています。

それには、利用者の自己決定を尊重し質の高いサービスの提供や地域の関係機関とネットワークを組む等、地域生活に必要な環境を整えることが重要です。

さらに私達職員の意識の持ち方、新しい取り組みへの工夫が必要であり人材を尊重し、創意工夫をもって利用者の支援を行います。



新活動体制スタート

平成29年度、私共は兼ねてより皆様のご援助のもとに念願だった「社会福祉法人」に格上げされ、4月1日よりスタート致しました。

今後、皆様のご支援に応えるべく懸命の努力をいたす所存でございますので何卒よろしくお願い申し上げます。

新しい事務室が完成

4月19日(水)1階の研修室の改修工事が始まり、今まで2階だった狭い事務室で不便を感じていましたが、下旬には完成し引っ越しました。お客さんのおいでになっても、すぐに応対できるようになりよかったです。どうぞ近くにおいでの際は是非お立ち寄り下さい。



利用者活動

—ゴミ袋作業—

小樽市浜本製袋会社のゴミ袋の仕事が始まる。初日は10枚ずつ1袋に詰めて1千枚にしました、2回目は4千枚と折りだんだん枚数が多くなりました。この調子で頑張ろう。

—各イベントに出店参加—

・7月1日(土)、2日(日)ソーラン祭り

余市町恒例のソーラン祭りが2日間ありました。

初日は町営駐車場でソーランお祭り広場が行われ、2日目はニッカ工場の敷地内でソーランふれあい広場が行われ、多くの製品が完売しました。



・7月16日(日)大江学園花菖蒲祭り

仁木町の大江学園の菖蒲まつりが雨の降る中行われましたが一生懸命自分達の展示した物や食材は当初考えていたよりとても多く売れました又、花菖蒲畑の花も美しく咲きほろび、多くの方々が見学に訪れていました。

・9月24日(日)味覚の祭典、銀山ふれあい祭

イベントが重なりましたので、2班に分かれて活動をしました。イベント中では一番人手が多く、両会場とも大賑わいで、休む暇もないくらいの忙しさでほとんどの食材が完売しました。みなさんお疲れさまでした。

・10月1日(日)仁木町うまいもんじゃ祭り



第17回全国障害者スポーツ大会(えひめ大会)

10月28日、29日の2日間、北海道を代表して、樋口君が水泳の部で28日に自由形25m13秒85で2位となり、29日にバタフライ25m15秒19で優勝しました。水泳得意の樋口君が力を出し切って優勝したことに利用者の皆さんも大きな拍手を送り喜びを分かち合いました。おめでとうございます。



通所希望者募集

障がいにくじけず、前向きに頑張っている仲間やスタッフがあなたを待っています。

私たちは、いつでも温かく迎え入れます。お気軽にお問い合わせ下さい。

希望の家 ☎ 0135-23-7115 担当 施設長 高橋 徹

【メール】 info@kibouno-ie.org 【ホームページ】 <http://www.kibouno-ie.org/>

〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町4-27